

就労移行支援事業所向け研修会実施結果概要

昨年度実施の就労移行支援事業所向けアンケート調査結果に基づき、就労移行支援事業所向け研修会を以下のように実施した。

1. 実施概要

日時…平成 28 年 11 月 22 日（火） 午前 9 時 30 分～正午

場所…千葉県庁本庁舎 5 階大会議室

2. 対象者

県内（政令指定都市・中核市所在含む）の就労移行支援事業所職員

- ・管理者
- ・サービス管理責任者
- ・就労支援員 等

※特に、昨年度の就職者が 0 人である事業所が対象

3. 参加者

参加事業所… 40 事業所

うち、昨年度の就職者が 0 人である事業所… 10 事業所
（出席率… 37%（27 事業所中））
※平成 28 年 6 月 9 日実施調査による。

参 加 者… 47 名

うち、法人代表者…………… 3 名
管理者…………… 15 名
サービス管理責任者……… 7 名
就労支援員…………… 15 名
その他の職員…………… 7 名

4. 講義内容

別添「資料 2 - 2」参照

5. グループワーク実施結果

別添「資料2－4」のとおりグループワークを実施した。

参加者全員を近隣圏域ごとにA～Hの8グループに分け、グループごとに3つの課題について意見交換を行った。

グループ分けは以下のとおり。

グループ	圏域
A	千葉圏域①
B	千葉圏域②
C	千葉圏域③
D	習志野・船橋圏域
E	市川・松戸・野田・柏圏域
F	印旛・香取・海匝圏域
G	山武圏域
H	長生・君津・安房・市原圏域

(1) 連携している機関

	A	B	C	D	E	F	G	H
障害者就業・生活支援センター	○	○	○	○	○	○	○	○
ハローワーク	○	○	○	○	○	○	○	○
特別支援学校	○			○	○	○	○	○
相談支援事業所	○		○		○	○		○
特例子会社	○		○	○	○			
病院・診療所	○	○	○	○				
障害者職業センター	○		○				○	
発達障害者支援センター			○					
高次脳機能障害支援センター		○						
市町村の就労支援部会					○			
地域若者サポートステーション								○
ジョブコーチ			○					
パソナ（障害者雇用サポート事業）	○							
他の就労移行支援事業所					○			
グループホーム			○					
地域活動支援センター					○			
民生委員								○
家庭			○					

(2) 地域における不足機関・不足機能

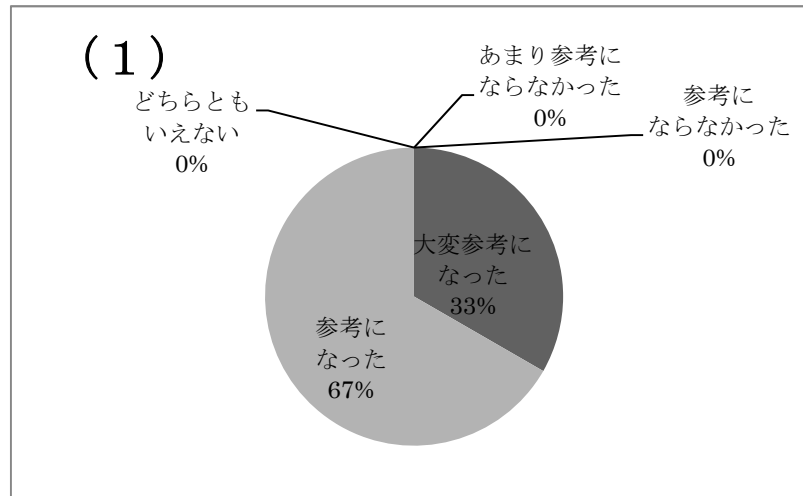
	グループ
相談支援事業所 ・利用者が3～4ヶ月待ちである ・セルフプランで利用せざるを得ない人が多い	A・D・E A D・E
リワーク中の定着支援	A
就労移行支援事業所における生活支援	C
支援の中心的役割を担う（総合的な判断を行う）機関	D
就労移行支援事業所同士の連携	D
実習（特に、就業の可否の見極めのための実習）を実施する企業	D
特別支援学校卒業後、18歳で就職する人の家族との連携	E
障害者職業センターが遠い	E（野田市）
障害者就業・生活支援センターへの引継のタイミングが難しい。	F
企業等への移動が難しい。通勤が困難である	G・H
就職先の選択肢。マッチングが難しい	G・H
障害者就業・生活支援センターとの連携 ・連携の仕方が分からない ・センターが遠い	G・H G G
企業と事業所の情報共有やお互いのPRのための機会。	H
利用者が自身の障害を知るための機会。	H
企業が障害者について知るための機会。	H

(3) 不足を補うための取り組み

	グループ
営業活動 ・特に、遠くにある機関に対して働きかける ・事業所の特徴や担当者の顔を覚えてもらう ・定期的な訪問 ・実習の依頼	A A B・G D D
地域との交流	B
生活支援に注力	B
自事業所が連携の中心を担う体制づくり	D
利用者について機関間で情報共有	D・G
障害者就業・生活支援センターが実施する意見交換会における、他の就労移行支援事業所との交流	E

6. アンケート結果

(1) 就労移行支援事業に係る制度説明

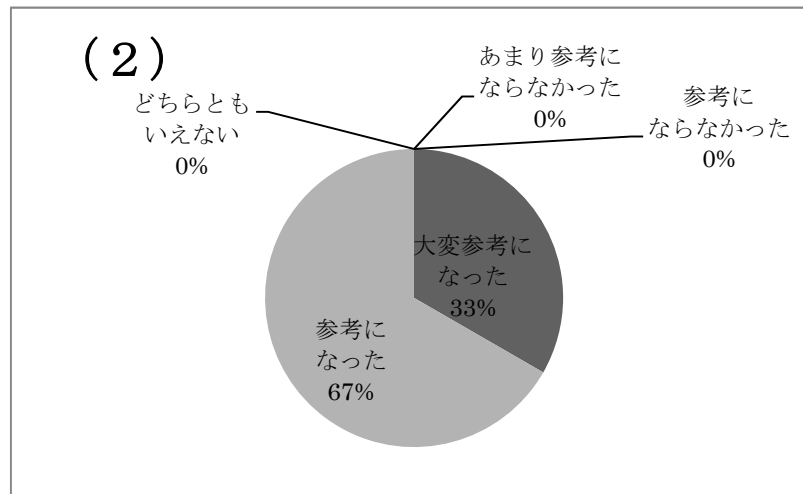


<感想・意見等>

- ・制度について再認識する機会になった。(船橋・就労支援員)
- ・従来算定していなかった加算について知ることができた。(市原・管理者)
- ・基本的な内容であり、改めて管理者・サービス管理責任者に対して説明する必要があるか疑問であった。(習志野・管理者)

(2) 就労移行支援事業の現状等

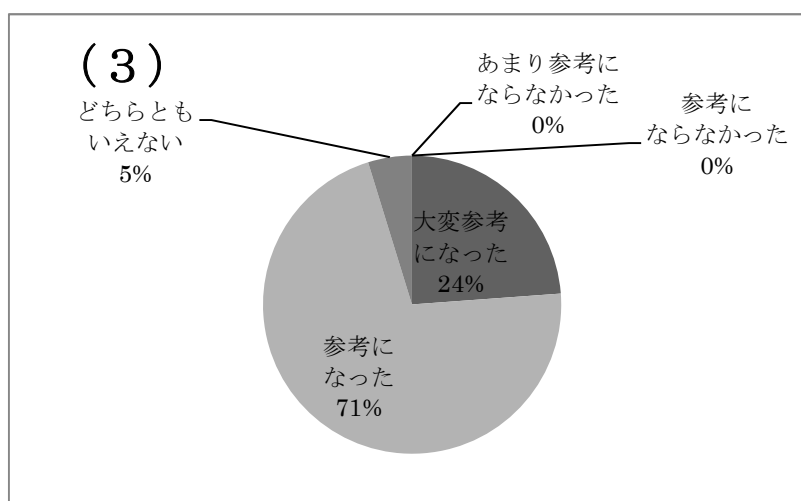
関係機関との連携 ①障害者就業・生活支援センター



<感想・意見等>

- ・センターの業務内容について、認識不足であったと痛感した。(千葉・管理者)
- ・新設される就労定着支援の内容について、今後注視したい。行政機関から早く情報を提供してほしい。(習志野・管理者)

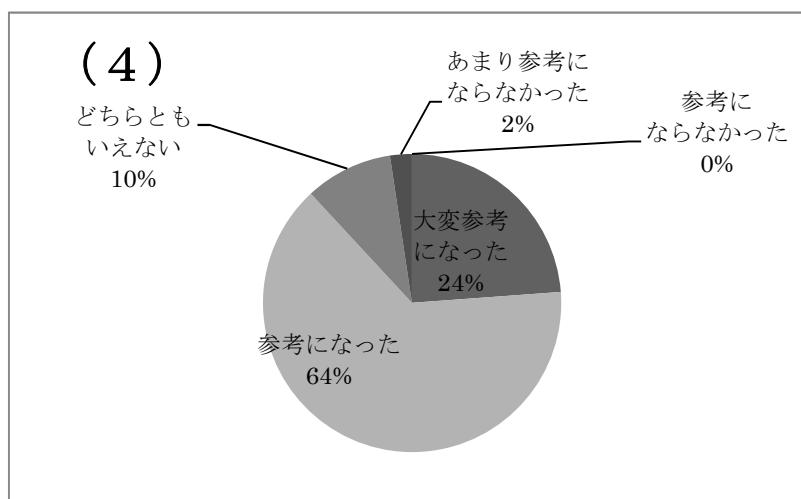
(3) 関係機関との連携 ②ハローワーク



<感想・意見等>

- ・今回の内容について、利用者と情報共有することで、ハローワークへ同行する際に、参考になる。(船橋・サービス管理責任者)
- ・ハローワーク側からの要望について聞くことができる機会は貴重であった。(市川・その他従業員)

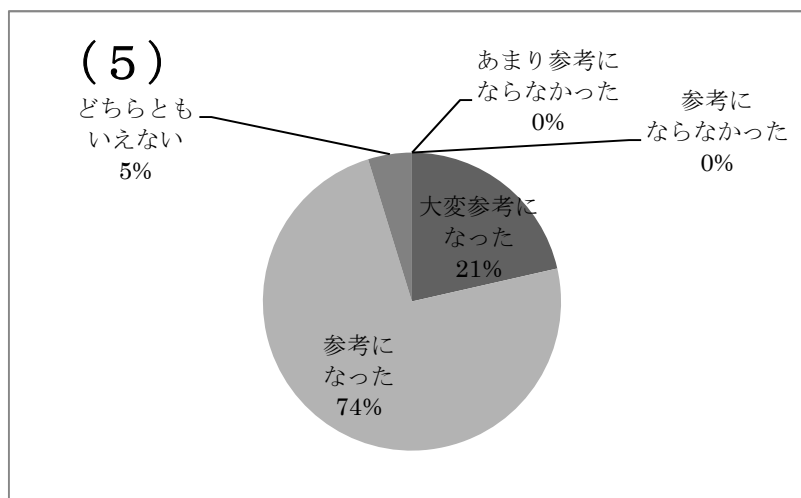
(4) 関係機関との連携 ③特例子会社



<感想・意見等>

- ・特例子会社に勤務する障害者の実例を聞く機会は貴重であった。(山武・就労支援員)
- ・会社の収支状況について聞きたかった。自身の事業所では、同様の作業を行っているが工賃が低い。(千葉・就労支援員)
- ・特例子会社から就労移行支援事業所へ実習に行くというケースがあると知り、参考になった。(市川・その他従業員)

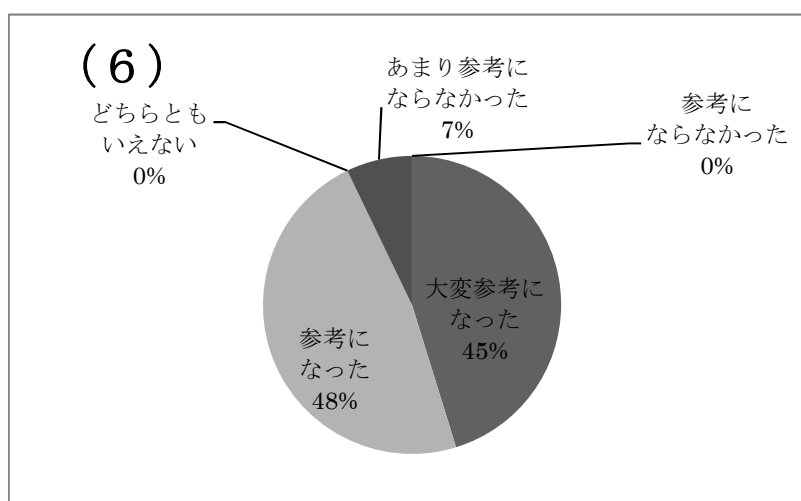
(5) 一般就労事例紹介



<感想・意見等>

- ・就労移行支援事業所での勤務経験が浅いので、事例に沿った説明を聞くことができ、大変参考になった。(市川・その他従業員)

(6) グループワーク



<感想・意見等>

- ・近隣の事業所と悩みを共有することができた。(千葉・サービス管理責任者)
- ・他の圏域の状況について知る機会になった。(松戸・就労支援員)
- ・異なる立場間での意見交換の機会は貴重であった。(印旛・就労支援員)
- ・他の事業所の積極的な活動状況を知り、励みになった。
(習志野・サービス管理責任者)